

特別賞(アーバンリフレッシュ賞)

大博通りシンボルロード整備事業

(表彰対象者：福岡市土木局)

表彰の理由

整備の遅れていた地区を福岡市の歴史性を生かして「歴史の散歩道」と位置づけ、再生させた着想の斬新性が評価の対象とされた。

事業のあらまし

本市マスタープランの中で「緑のプロムナード計画」の一つとして位置付けられているこの路線は、都市交通において人と車の調和を図り都心に緑とうるおいのある道路づくりをめざすものである。

大博通りは、陸の玄関口JR博多駅と海の玄関博多港を結ぶ重要な幹線道路であり、市制100周年事業の一つとして「アジア太平洋博覧会」の開催に合わせ「福岡の顔」となるようなシンボルロード事業として整備した。

- 延長：1,960m
- 幅員：50m
- 事業費：8,300百万円
- 事業実施期間：昭和49年度～昭和63年度



〈全景〉博多駅から博多港を望む。



〈全景〉博多駅から博多港を望む。(昭和45年撮影)

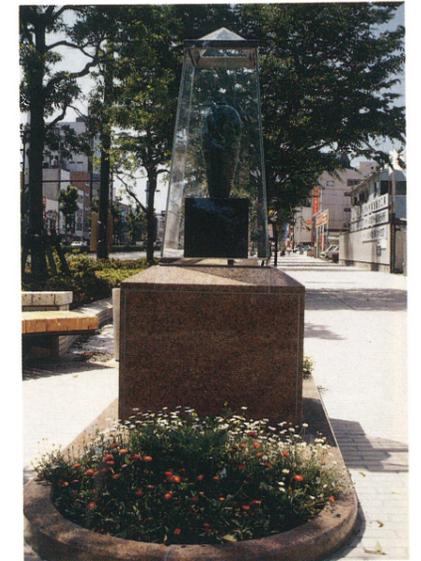


福岡市の緑のプロムナード計画。

大博通りシンボルロードは、
歩きながら見て楽しむ、
みんなの歴史展示館。



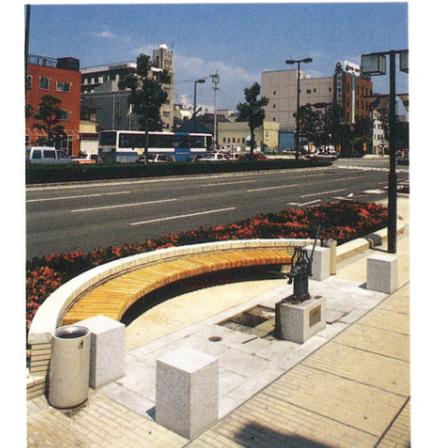
ストリートファニチャー(セラミック)
海をこえた船(遣唐使船、遣明船、御朱印船)。



ストリートファニチャー(レプリカ)
緑釉揺らし唐草文梅瓶。



ストリートファニチャー(レプリカ)金印
(西暦57年奴国王に光武帝から贈られたもの)。



〈おポンプ様〉歩道に残った二連式ポンプ。

事業遂行上の工夫

本事業の中で、道路拡幅に伴う文化財発掘調査を実施してきましたが、博多が古くから海外交流の拠点として発展してきたことがうかがえる資料が数多く出土したため、出土品や地元に残る古地図などをレプリカやセラミックによる絵付き陶板などで展示し、歩きながら博多の歴史や文化を知ることができる「歴史の散歩道」として整備したものです。